

操作のしくみと表示の見方

Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。
機種により形状は異なります。
本書の表示例は、モジュール2320を使用しています。(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)

デジタル時刻表示

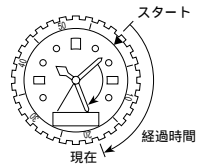
モジュール 2320

モジュール 2321

ライト点灯 (モジュール 2321 のみ)
Ⓐ ボタンを押すと、約2秒間
ライトが点灯します。

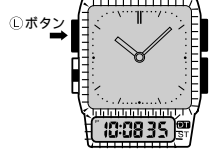
回転ベゼルのついているものは

回転ベゼルを回し、マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。
内転ベゼル方式になっているものは右上のリユーズを回すとベゼルが回転します。



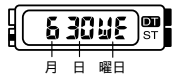
ライト点灯について(モジュール2321のみ)

Ⓐ ボタンを押すと、約2秒間ライトが点灯します。
ライト点灯中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯するときの振動音であり、異常ではありません。
ライト点灯中に運針するとライトが一瞬消えますが、故障ではありません。



Ⓐ ↓ 以下アナログ(針)部省略

カレンダー表示



< 曜日の見方 >

SU: 日	MO: 月	TU: 火	WE: 水
TH: 木	FR: 金	SA: 土	

↑ Ⓐ

ストップウォッチ表示



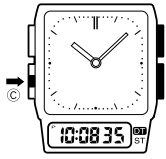
↑ Ⓐ

デュアルタイム表示



アナログ部のセットのしかた

デジタル部がどの表示のときでも、**ⓐ**ボタンを先のとがった棒で押すと1/3分(20秒)ずつ進み、押し続けると早送りします。分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったときに1/3分(20秒)ずつ進みます。



カレンダーの合わせ方...

操作のしくみにしたがって**ⓐ**ボタンを押し、カレンダー表示にします。

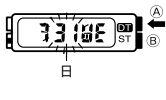
- 1 セットしたい箇所(月、日、曜日)を選ぶ
カレンダー表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると「月」が点滅します。以後**ⓐ**ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所(月、日、曜日)を点滅させます。



- 2 「月」のセット
カレンダー表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると「月」が点滅します。
「月」が点滅しているとき、**ⓐ**ボタンを押すごとに「月」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「月」を表示させます。



- 3 「日」のセット
「月」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すと「日」が点滅します。「日」も「月」と同様に**ⓐ**ボタンでセットします。



- 4 「曜日」のセット
「日」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すと「曜日」が点滅します。「曜日」も同様に**ⓐ**ボタンでセットします。



- 5 「曜日」のセットが終わりましたら、**ⓑ**ボタンを押すと点滅が止まり、カレンダー表示に戻ります。



カレンダーのセットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1~2分後自動的に点滅が止まり、時刻表示に戻ります。カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の2月29日以外は修正不要です。

デジタル時刻のセットのしかた

秒の合わせ方...30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度くらい「秒合わせ」をしていただくと時刻はいつも正確です。

- 1 デジタル時刻表示のときに、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると「秒」が点滅します。



- 2 時報に合わせて**ⓐ**ボタンを押すと「秒」が00秒からスタートします。



秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

時報は「時報サービス117番」が便利です。

- 3 **ⓑ**ボタンを4回押しすると点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



時刻の合わせ方

- 1 セットしたい箇所を選ぶ
デジタル時刻表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると「秒」が点滅します。以後**ⓐ**ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



- 2 「時」のセット
デジタル時刻表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しして「秒」を点滅させてから続けて**ⓐ**ボタンを押し、「時」を点滅させます。
「時」が点滅しているとき、**ⓐ**ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



- 3 「分」のセット
「時」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に**ⓐ**ボタンでセットします。



- 4 12/24時間制表示の切り替え
「分」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すと12/24時間制表示の切り替えとなり、**ⓐ**ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



- 5 セットが終わりましたら、**ⓑ**ボタンを押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。

時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1~2分後自動的に点滅が止まります。

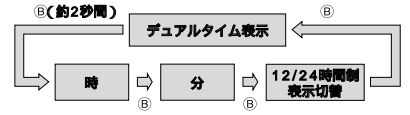
デュアルタイムの使い方...

操作のしくみにしたがって**ⓐ**ボタンを押し、デュアルタイム表示にします。

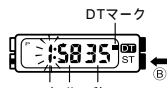
デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。(秒はデジタル時刻と連動)
また、現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制、デュアルタイムを24時間制のようにセットすることもできます。
また、加えてアナログ時刻も別の時刻にセットすると、合計3つの地域の時刻を表示することができます。

デュアルタイムのセットのしかた

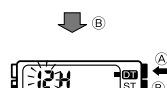
- 1 セットしたい箇所を選ぶ
デュアルタイム表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると「時」が点滅します。以後**ⓐ**ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



- 2 「時」のセット
デュアルタイム表示のとき、**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすると、「時」が点滅します。
「時」が点滅しているとき、**ⓐ**ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



- 3 「分」のセット
「時」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に**ⓐ**ボタンでセットします。



- 4 12/24時間制表示の切り替え
「分」を合わせた後**ⓑ**ボタンを押すとデュアルタイムの12/24時間制表示の切り替えとなり、**ⓐ**ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



- 5 セットが終わりましたら、**ⓑ**ボタンを押すと点滅が止まります。



セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1~2分後自動的に時刻表示に戻ります。

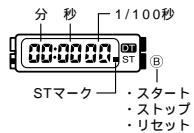
ストップウォッチの使い方...

操作のしくみにしたがって**ⓐ**ボタンを押し、ストップウォッチ表示にします。

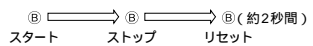
ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ⓑボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測終了後**ⓑ**ボタンを約2秒間押しすと計測値がリセット(00:00:00表示)されます。



通常の計測



積算計測(ロスタイムのある計測)

